

JavaScript 講座 第1回

「JavaScriptを始めよう」

2026/01/15

Tam

◆第1回／令和8年1月15日(木)

「JavaScriptを始めよう」

- プログラミングの基礎知識
- JavaScriptとはどういったものか。何ができるのか
- 本講座でのJavaScript開発環境について
- JavaScriptを始めよう

言語仕様に基づいたプログラミングJavaScriptとHTMLの関係

◆第2回／1月22日(木)

「JavaScript文法の基礎」

- 変数、定数、配列
- 論理演算と条件分岐
- 繰り返し命令
- エラー対策

プログラミング言語とは？

（大まかに言えば）機械に依頼する作業の指令書。

プログラミング言語は、相手が機械なので、融通がまったく効きません。

1文字間違えても、スペルミスしてもエラーになります。

JavaScript とは？

長所：

1. ほとんどのブラウザの上で動く。
2. コンパイル不要。

※「コンパイル」という単語の意味は、今は知る必要はありません。後で学んでいきましょう。

短所：

1. （一般的に）処理速度が遅い。
2. （言語学的に）後付で機能拡張が行われているため、難解な部分がある。

開始前の準備

1. "JS1" などの区別のつく適切な名前で、デスクトップにフォルダを作成しましょう。
2. Visual Studio Code を立ち上げましょう。
3. 上で作成したフォルダを開いておきましょう。

Hello, World

最初の例文として「Hello, World」を表示するだけのプログラムがよく使われます。

※プログラミング言語界隈の慣習として定着しています。

早速やってみましょう。

入力方法

今回のプログラムの入力には、先に立ち上げた Visual Studio Code（VSCode と略することが多い）を使っていきます。

約束事：

1. 基本的に入力は **半角モード**で行ってください。
漢字やひらがな入力モードで入力した文字は受け付けてもらえません。
2. VSCode で **赤線が出た部分**には、たいてい **入力間違い**が含まれています。
マウスカーソルを合わせると間違いの内容が表示されますので、
メッセージに従い修正していきましょう。

HTML

まずは以下の HTML の入力をお願いします。

ファイルは、先程作成したフォルダ内で「hello.html」などとしてください。

```
<html>
  <head>
  </head>
  <body>
    <p id="greeting">Hello, World.</p>
    <!-- ここはコメントアウトと呼ばれ、プログラムの実行に影響を与えません。
        コメントアウトにはプログラムの解説などを書いています、
        入力する時間がもったいないので、入力しないでください。 -->
  </body>
</html>
```


JavaScript を埋め込んでみよう！

```
<html>
  <head>
  </head>
  <body>
    <p id="greeting">Hello, World.</p>
  </body>
  <!-- ここから追加 -->
  <script type="text/javascript">
    // ここは JavaScript のコメントアウトです。
    // コメントアウトは入力しないでください。
    let element = document.getElementById("greeting");
    element.innerText = "Good Evening";
  </script>
  <!-- ここまで -->
</html>
```

おめでとうございます！

正しく入力できていれば、

"Hello, World" の部分に **"Good Evening"** が表示されています。

あなたにとっての初めての JavaScript プログラムが出来上がりました。

正しく動かなかったら？

まずは Visual Studio Code 上で赤線が出てないか確認しましょう。

次に Debug Console 上でエラーが出てないか確認しましょう。

※Debug Console の表示の仕方は画面で説明します。

デバッグコンソール

ブラウザでのエラー情報などが表示されるウィンドウがあります。

表示のさせ方：

1. ブラウザの右上の「 」マークをクリックします。
2. 「その他のツール」 → 「デベロッパーツール」とクリックしていきます。
3. 表示されたウィンドウから「Console」タブをクリックします。

物足りないですね。

文字に色を付けてみましょう。

```
<!-- ここから追加 -->
<script type="text/javascript">
  let element = document.getElementById("greeting");
  element.innerHTML = '<span style="color: red;">Good Evening</span>'
</script>
<!-- ここまで -->
```

現在時刻を表示するように改造してみましょう。

```
<!-- ここから追加 -->
<script type="text/javascript">
  // id="greeting" となっている HTML タグを取得
  let element = document.getElementById("greeting");
  // 現在時刻を取得
  let t = new Date();
  // 現在時刻を HTML に埋め込む
  element.innerText = t;
</script>
<!-- ここまで -->
```

※この現在時刻は、一回表示して終わりなので、1秒毎に時刻を刻んだりは出来ません。

デバッグコンソールに出力

以下はデバッグコンソールに "Hello, World" を表示する例です。

早速試してみましょう。

```
<!-- ここから追加 -->  
<script type="text/javascript">  
  // Hwllo, World を表示する  
  console.log("Hello, World.");  
</script>  
<!-- ここまで -->
```

現在時刻をデバッグコンソールに表示する

```
<!-- ここから追加 -->  
<script type="text/javascript">  
  // 現在時刻を取得  
  let t = new Date();  
  // 現在時刻を表示する  
  console.log(t);  
</script>  
<!-- ここまで -->
```